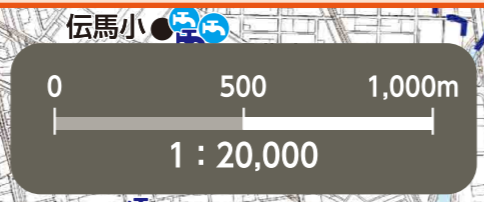


# 地震ハザードマップ 緑区

令和7年8月時点



**指定緊急避難場所への避難**  
 名古屋市災害対策本部・緑区本部(緑区役所)  
 TEL/621-2111(代表) 625-3903~6(ダイヤルイン) FAX/623-8191

**官公署(□印)**

A 緑区役所	E 緑消防署有松出張所	I 上下水道局南部営業センター
B 緑区役所徳重支所	F 緑消防署徳重出張所	J 上下水道局南部管路センター
C 緑消防署	G 緑消防署鳴海出張所	H 緑土木事務所
D 緑消防署大高出張所		

**凡例**

- 指定緊急避難場所(地震の揺れ、大規模な火事)【広域避難場所】**  
地震・大規模な火事の指定緊急避難場所であり、大震災から避難者を守るための空間を有している公園・緑地など。
- 指定緊急避難場所(地震の揺れ)【一時避難場所】**  
地震の指定緊急避難場所であり、一時的に避難して様子をうかがうところ。
- 応急給水施設(常設給水栓・仮設給水栓)**  
広域避難場所などに整備しており、災害時には上下水道局職員や応援協定を締結している民間事業者が開業する施設。
- 応急給水施設(地下式給水栓)**  
給水区域内全ての公立小中学校に整備されており、災害時には避難者自らが操作し、水を確保する施設。
- 災害応急協力井戸(一般)※** 大地震発生時の生活用水(飲料水ではありません)の確保を目的とし、市民、事業者、工場などが持つ井戸のうち、災害時に地域住民に提供しただけの井戸。  
※発災時における災害応急協力井戸(一般)の詳細な所在地については、管轄の保健センターへお問い合わせください。
- 土砂災害(特別)警戒区域**  
土砂災害の発生のおそれがある区域。
- 区界** (学区界はおおよそです。詳しくは、各学区役所へお問い合わせください。)

**災害応急用井戸(事業所)**

記号	施設名称	記号	施設名称
1	有松フィッシュガーデン	10	ひかり老人保健施設
2	(株)伊藤バレレ	11	東海生コン(株)大高工場
3	(資)大須ういろ 大高工場	12	(有)マインズ
4	(株)小島産業	13	前田産業(株)豊田営業所
5	なごやかハウス滝ノ水	14	アイテック(株)
6	(株)張正	15	中日コプロ(株)鳴海営業所
7	中部電力(株)技術開発本部	16	(株)愛知造園
8	愛知総販売(株)	17	(株)石川マテリアル
9	天理教 愛知大教会	18	日本リテールファンド投資法人(なるぽーく)

※他区の指定緊急避難場所への避難可否は、各区の各種ハザードマップをご覧ください。名古屋市公式ウェブサイトでも全区のハザードマップを公開しています。

**指定緊急避難場所(地震の揺れ、大規模な火事)【広域避難場所】**

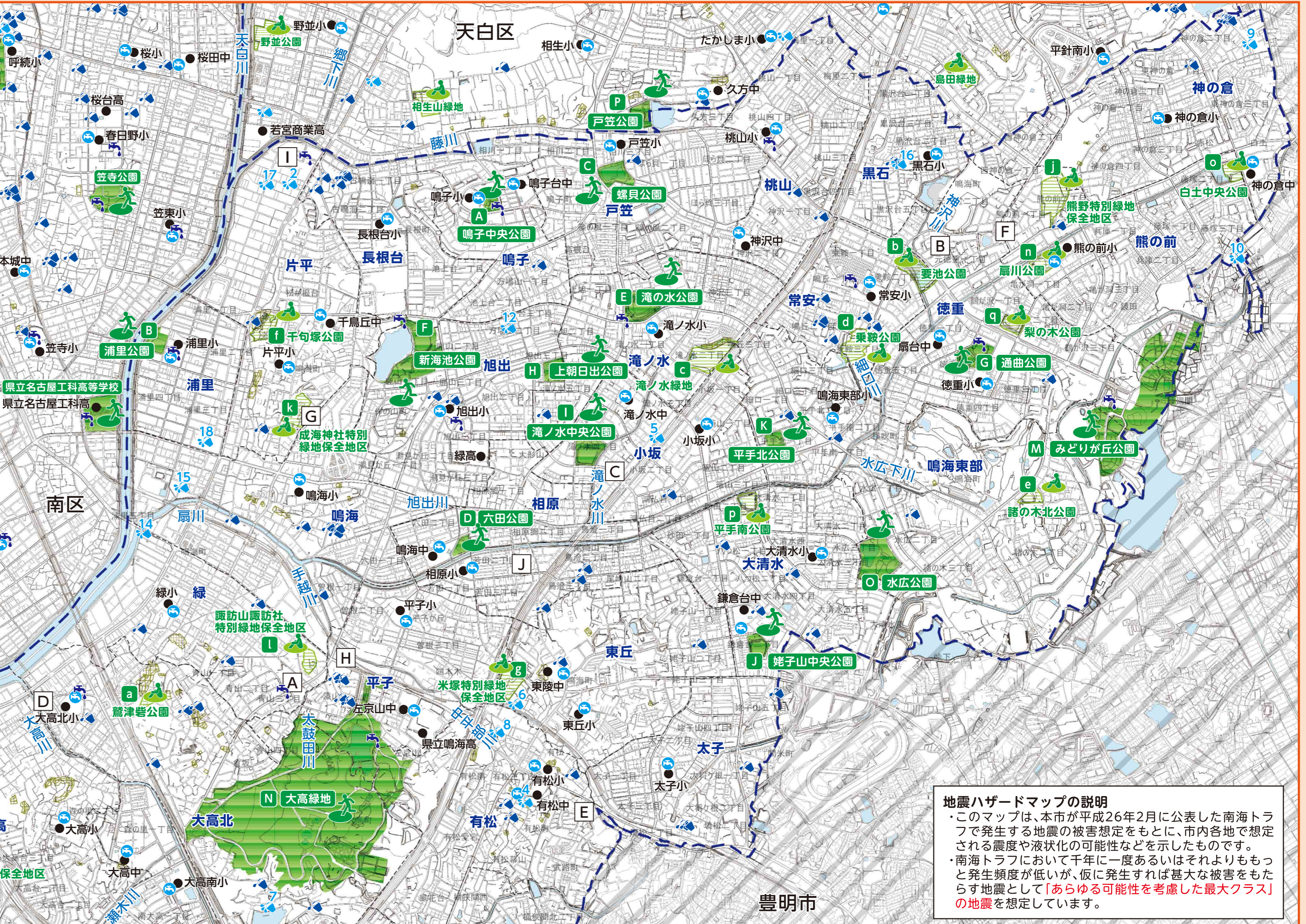
記号	施設名称	指定緊急避難場所 地震の揺れ 大規模な火事	記号	施設名称	指定緊急避難場所 地震の揺れ 大規模な火事
A	鳴子中央公園	○	I	滝ノ水中央公園	○
B	浦里公園	○	J	姥子山中央公園	○
C	螺貝公園	○	K	平手北公園	○
D	六田公園	○	L	清水山中央公園	○
E	滝の水公園	○	M	みどりが丘公園	○
F	新海池公園	○	N	大高緑地	○
G	通曲公園	○	O	水広公園	○
H	上朝日出公園	○	P	戸笠公園	○

**指定緊急避難場所(地震の揺れ)【一時避難場所】**

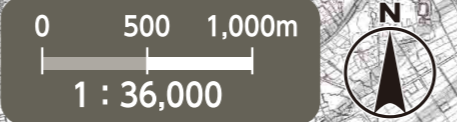
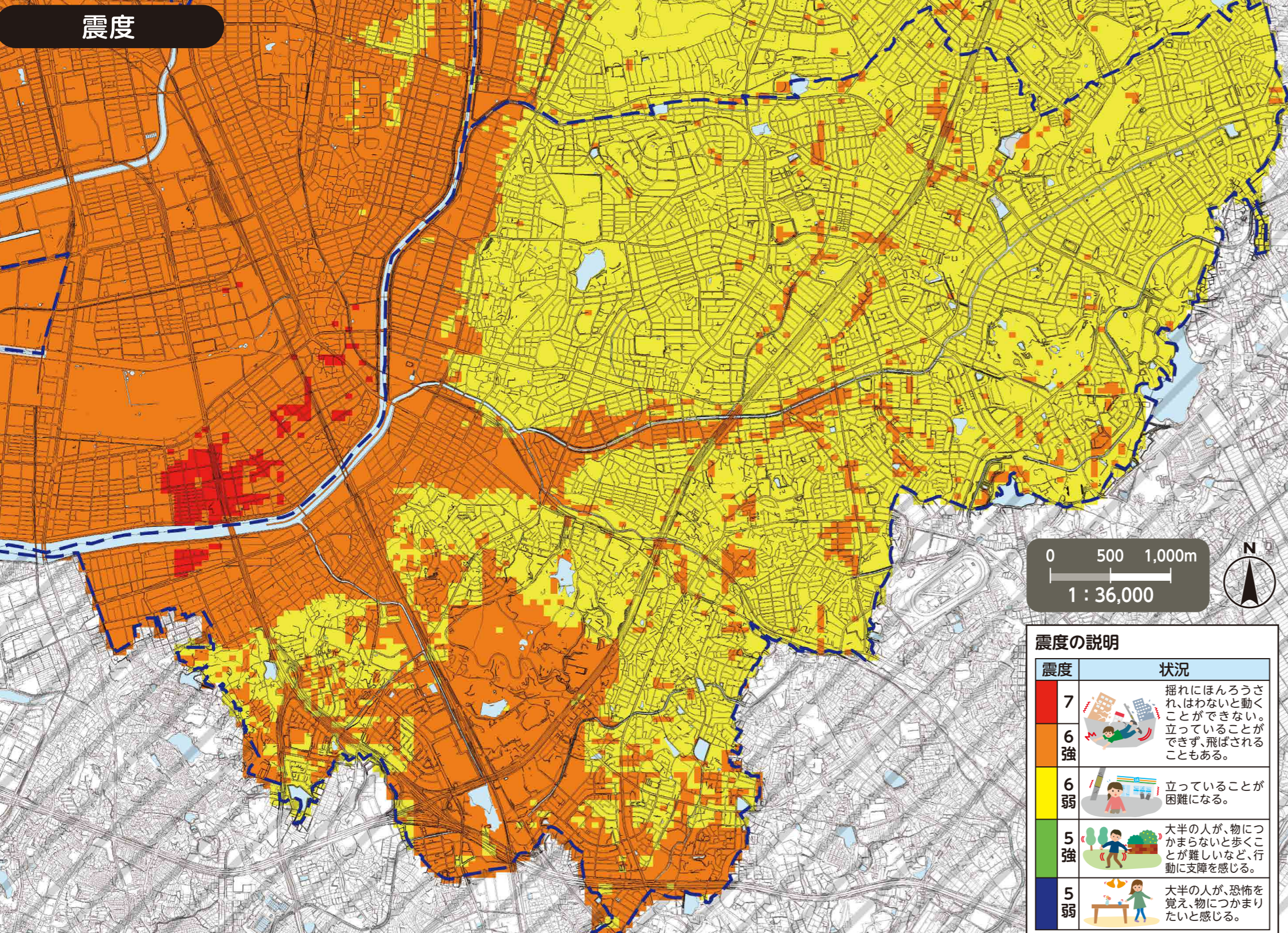
記号	施設名称	指定緊急避難場所 地震の揺れ 大規模な火事	記号	施設名称	指定緊急避難場所 地震の揺れ 大規模な火事
a	鷺津岩公園	○ ×	l	諏訪山諏訪社特別緑地保全地区	○ ×
b	要池公園	○ ×	m	下籠池公園	○ ×
c	滝ノ水緑地	○ ×	n	扇川公園	○ ×
d	乗鞍公園	○ ×	o	白土中央公園	○ ×
e	諸の木北公園	○ ×	p	平手南公園	○ ×
f	千句塚公園	○ ×	q	梨の木公園	○ ×
g	米塚特別緑地保全地区	○ ×		市立小学校・中学校・一部の高等学校等のグラウンド(緑高等学校・鳴海高等学校)	○ ×
h	火上山特別緑地保全地区	○ ×		※広域避難場所に含まれる施設については、大規模な火事にも対応	
i	桶狭間特別緑地保全地区	○ ×			
j	熊野特別緑地保全地区	○ ×			
k	成海神社特別緑地保全地区	○ ×			

**最新の指定緊急避難場所は  
こちらで確認。**

名古屋市長 指定緊急避難場所 検索

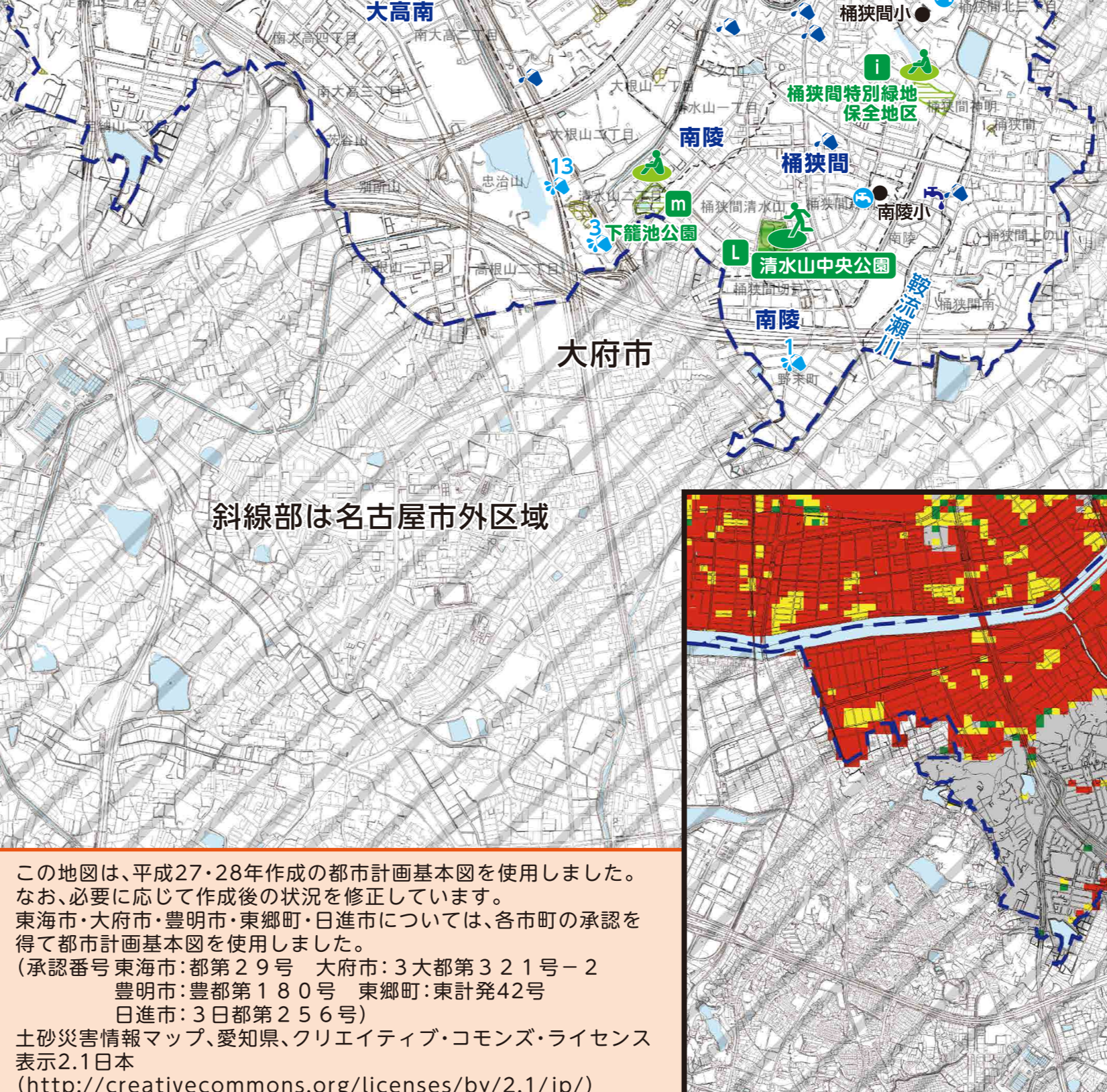


**地震ハザードマップの説明**  
 ・このマップは、本市が平成26年2月に公表した南海トラフで発生する地震の被害想定をもとに、市内各地で想定される震度や液状化の可能性などを示したものです。  
 ・南海トラフにおいて千年に一度あるいはそれよりもっと発生頻度が低い、仮に発生すれば甚大な被害をもたらす地震として「あらゆる可能性を考慮した最大クラス」の地震を想定しています。

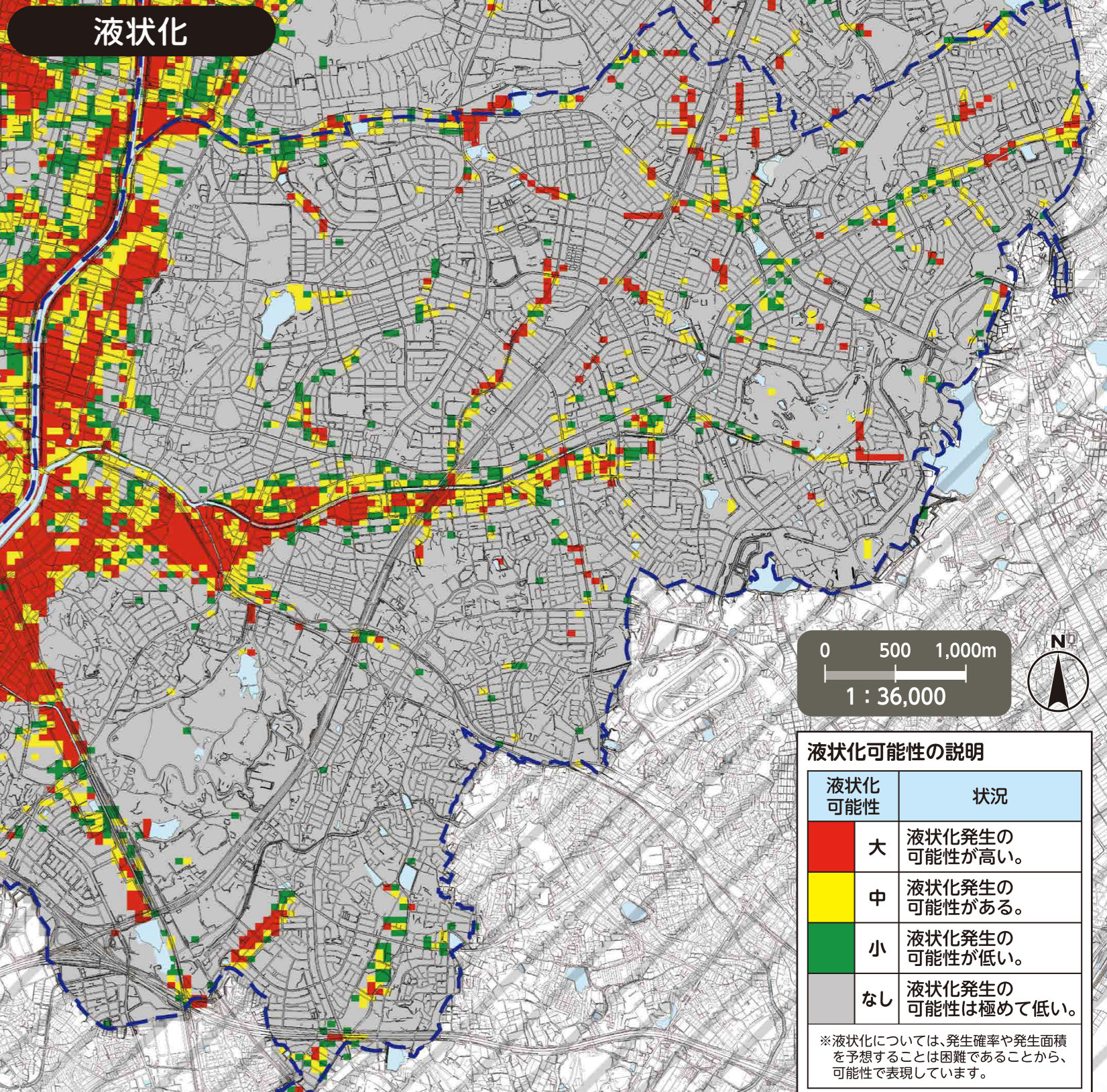


**震度の説明**

震度	状況
7	揺れにほんろうされはわないと動くことができない。立っていることができません。倒壊されることもある。
6強	立っていることが困難になる。
6弱	大半の人が、物につかまれないと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。
5強	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
5弱	



この地図は、平成27・28年作成の都市計画基本図を使用しました。なお、必要に応じて作成後の状況を修正しています。  
 東海市・大府市・豊明市・東郷町・日進市については、各市町の承認を得て都市計画基本図を使用しました。  
 (承認番号 東海市: 都第29号 大府市: 3大第321号-2 豊明市: 豊都第180号 東郷町: 東計発42号 日進市: 3日都第256号)  
 土砂災害情報マップ、愛知県、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス表示2.1日本  
 (<http://creativecommons.org/licenses/by/2.1/jp/>)



**液状化可能性の説明**

液状化可能性	状況
大	液状化発生の可能性が高い。
中	液状化発生の可能性がある。
小	液状化発生の可能性が低い。
なし	液状化発生の可能性は極めて低い。

※液状化については、発生確率や発生面積を予想することは困難であることから、可能性で表現しています。